

令和5年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施設名	豊中市立環境交流センター
所管部(局)課	環境部ゼロカーボンシティ推進課
指定管理者	NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価		
1	基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか	・指定管理基本協定書に基づき、活動のための交流の場や情報の提供を行うなど、施設の設置目的に沿った運営や事業が実施されている。 ・市の環境基本計画と両輪をなす「豊中アジェンダ 21」の推進に当たり、市民・事業者・NPO・行政と連携を図り、取り組む姿勢は評価できる。 ・地方自治法等の関係法令から逸脱する行為は確認されていない。	B		
		市の施策全般を理解し協力しているか				
		地方自治法等の関連法令を遵守しているか				
		施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか				
2	サービス水準・施設効用の発揮	利用者数	最高評価サービス水準値； 25,500 人	確保すべきサービス水準値； 17,000 人	実績値； 17,520 人	B
		稼働率	最高評価サービス水準値； 66%	確保すべきサービス水準値； 44%	実績値； 61.5%	
		施設の維持管理を安心安全に配慮しているか	・施設の維持管理において、定期清掃や各種設備の定期点検を適宜行い安心安全に配慮している。			
		利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか	・利用者が安全かつ快適に施設を利用できるように、適切な施設の管理、利用者・従事者の安全管理や緊急時の対応マニュアルを整備するなどして、安全確保に努めている。			
		使用許可の判断等を公平公正に行っているか	・使用許可の判断は、条例や規則、マニュアル等に基づいて、利用目的などを公平公正に判断し、適正に施設使用を許可している。			
		安定して確実に日常業務を遂行しているか	・日常業務の遂行については、日報や月次モニタリングにより円滑なイベントの運営が確認できる。			

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		創意工夫ある独自企画事業を展開しているか	・センターの事業を広く周知するため、センターの動画を作成し YouTube を通じて公開し、ホームページから閲覧できるようにした。 ・イベント会場や商業施設、市庁舎などセンター外で単発的に実施していた子ども服リユース事業をセンターでの常設化に向け市民団体と意見交換を進め、令和 6 年度の実現につなげている。 ・SDGs をテーマとした連続講座では、講義形式に留まらず、まち歩きや地域で活動するキーパーソンへのヒアリング、マップ作りなど、環境活動の取り組みのより実践的理解につながるよう改善を進めている。	
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	・当該年度の収支がプラスとなっていることや、流動負債に対する流動資産の割合（流動比率）が 234%となっており、200%を上回っているため、財政状況は安定しているといえる。	B
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か 地域の市民との関係は良好か	・来館者アンケートからは、スタッフの接客態度については、「いつも親切で丁寧で明るくて好感がもてる」、「気持ちが良い対応」など、肯定的な感想が多く、スタッフの対応は概ね良好であると評価できる。 ・施設利用についても、否定的な回答は少なく、概ね良好であると評価できる。一方で、「施設の認知度が低い」、「スペースが生かしきれない」などの意見があり、改善の余地がある。 ・南桜塚校区地域連絡協議会への参加を継続し、防災・安全関係の役割の一翼を担う他、地域福祉ネットワーク会議に参画し、センターの機能の認知向上に努めるなど、地元地域や市内市民活動団体との連携の強化・拡大に取り組んでいる。 ・地域や幅広い世代と連携した事業の実施などの継続拡充が期待される。	B
5	従業員への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修は実施されているか 従業員が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか 従事者（第三者委託先の従事者含む）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	・従業員のワークライフバランスを図るための各種休暇制度、育児休業制度及び介護休業制度等を整備されている。 ・職員に SDGs に関する専門的な研修を実施し、従業員のスキルアップが図られ、2024 年 3 月には賃金規則の改正を行い、処遇改善を行った。また、従業員の面談を行うことで、個々に対して効果的な人材育成に努めている。 ・従業員の安全管理についても安全管理マニュアルに沿って、適切に行われている。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	・個人情報保護管理責任者を設置し、また、情報セキュリティ体制を構築することで適切に事業運用を行っている。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	・緊急時の対応等を記載したマニュアルを作成し、危機管理体制を整備している。 ・定期的に消防訓練を実施するなど危機意識の向上に努めている。	B
8	その他	その他、条例等から必要と判断される評価事項	—	
	総合評価		・利用者数および稼働率は確保すべきサービス水準値を上回っており、アンケートでの自由記述に肯定的な意見が多く、利用者のニーズに応えるため創意工夫した事業や施設の運用など、管理運営状況は良好である。 ・利用者数については、第3期より確保すべきサービス水準値が17,000人となったため、さらに創意工夫した施設の運営や事業を実施することにより、利用者数が増加するよう努めていただきたい。 ・今後も引き続き、事業内容の充実を図りながら、誰もが利用しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、環境交流センターを拠点としつつ、センター外でも活動の展開を図り、市民に必要とされる事業と施設であるよう努めてもらいたい。	B

A ; 優れた管理運営状況である
 B ; 問題のない管理運営状況である
 C ; 改善を要する管理運営状況である